

授業科目名	NP統合演習		単位数	2	時間数	45		
Course Title	Integration exercise in Nurse Practitioner		必修・選択	NP必修	受講対象年	1年次		
科目コード	95625811	授業の形式	講義（オンデマンド）	講義室等	オンデマンド授業、秋田大学病院シミュレーション			
開設学期等	後期 土曜日 9・10時限							
【担当教員名】	【職名/所属】	【研究室番号】	【電話番号】	【担当教員名】	【職名/所属】	【研究室番号】	【電話番号】	
安藤秀明	教授/看護学講座	WebClass	WebClass mail	吉岡政人	教授/看護学講座	WebClass	WebClass mail	
利 緑	講師/看護学講座	WebClass	WebClass mail	赤沼 裕子	周麻酔看護師/聖路加国際大学 麻酔科・集中治療	WebClass		
高敷 倫子	診療看護師/秋田大学医学部附属病院	WebClass	WebClass mail	佐藤 大祐	診療看護師/秋田大学医学部附属病院	WebClass	WebClass mail	
村上光太郎	診療看護師/大館市立総合病院	WebClass	WebClass	古川 茜	診療看護師/大館市立総合病院	WebClass	WebClass	
工藤尚也	診療看護師/秋田大学医学部附属病院	WebClass	WebClass	河邊亮太	診療看護師/秋田大学医学部附属病院	WebClass	WebClass	
藤井詩乃	診療看護師/秋田大学医学部附属病院	WebClass	WebClass	前田香織	診療看護師/秋田大学医学部附属病院	WebClass	WebClass	
<b>授業の目的・到達目標</b>								
<p>患者の病態・生活背景・価値観に基づいたアセスメントをふまえて、臨床推論に基づいて、処置のリスクを理解して、必要な処置を提案し、診療行為（特定行為に関する医行為を含む）に含まれる治療手技も含めた、検査手技をペーパーベシエントやシミュレータ等を用いて演習をおこなう。手技の評価については、OSCEを実施して実践能力を評価担保する。</p> <p>急性期・慢性期領域疾病に対するアセスメント、必要な検査、処置・治療について、事例ベースに、診療の時間経過とともに変化する対応を検討修得する。</p> <p>(1) 気管内挿管チューブ調整、人工呼吸器管理を学び、理解する。  (2) 循環器サポート機器（ペースメーカー、経皮的心肺補助装置・大動脈内バルーン・パンピング）を学び理解する。  (3) 循環器病態に投与する薬剤効果・有害事象を学び、理解する。  (4) 術後留置ドレーン管理を学び、理解する。  (5) 栄養管理、血糖管理、中心静脈カテーテル管理、末梢型中心静脈カテーテル管理について学び理解する。  (6) 動脈血ガス分析について学び説明出来る。</p>								
<b>授業の概要と進行予定及び進め方</b>								
<p>講義（放送授業）：e-ラーニングの受講/確認テスト、添削指導  講義（手技動画）（放送授業・面接授業）：手技動画の視聴/手技練習の観察評価  【時間外学習】各回の授業内容について、復習する。</p>								
<b>成績評価の方法</b>		<b>教科書・参考書・参考文献等</b>						
<p>講義でのグループワーク観察評価および形成試験。  総合単位認定試験（筆記試験）。演習では、実技試験（OSCE）。</p>		教科書等	書籍名	著者	出版社			
<b>コメント</b>		<p>本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目」及び「双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業科目」である。  医療・保健活動に実務経験を有した教員（医師・看護師）が、その実践経験を生かして実践的な教育を行う。</p>						
<b>授業展開</b>		Web受講	<b>授業内容</b>					
第1回	後期履修期間 未定	○	<p>【鎮静トレーニング ASA-SED (1)】  非麻酔科医のための鎮静・鎮痛薬投与に関するガイドラインを習得する。  (1) 術前患者評価：術前併症、気道評価、絶食時間の設定  (2) 患者モニタリング：酸素化のモニタリング、呼名に対する反応評価、心電図、カプノグラム</p>					
第2回	後期履修期間 未定	○	<p>【鎮静トレーニング ASA-SED (2)】  非麻酔科医のための鎮静・鎮痛薬投与に関するガイドラインを習得する。  (3) 鎮静担当者の確保とその訓練：鎮静担当者の集中と一二次救命処置、二次救命処置等の緊急時対応  (4) 緊急用機材の準備と薬剤投与：蘇生薬剤、陽圧換気、気道管理器具、静脈路確保</p>					
第3回	後期履修期間 未定	○	<p>【鎮静トレーニング ASA-SED (3)】  非麻酔科医のための鎮静・鎮痛薬投与に関するガイドラインを習得する。  (5) 薬剤投与方法の原則：鎮静薬と鎮痛薬の相互作用、拮抗薬の準備、用量測定  (6) 回復期のケア：退室基準・退院基準策定の重要性</p>					
第4回	後期履修期間 未定	○	<p>【縫合・吻合】  豚皮、豚食道を用いた、皮膚縫合、消化管吻合を学ぶ。  皮膚縫合については、単純閉鎖、マットレス縫合、埋没縫合を学び、実行できるようになる。</p>					
第5回	後期履修期間 未定	○	<p>【末梢型中心静脈カテーテル挿入 (1)】  超音波ガイド下PICCカテーテル留置法を学び、理解し、実践出来る。</p>					
第6回	後期履修期間 未定	○	<p>【末梢型中心静脈カテーテル挿入 (2)】  超音波ガイド下PICCカテーテル留置法を学び、理解し、実践出来る。</p>					
第7回	後期履修期間 未定	○	<p>【末梢型中心静脈カテーテル挿入 (3)】 OSCE試験  超音波ガイド下PICCカテーテル留置法を学び、理解し、実践出来る。</p>					
第8回	後期履修期間 未定	○	<p>【クリティカルケア・プライマリアケア演習】  シミュレーション教育センターにて、経口・経鼻挿管チューブ位置調整/侵襲的陽圧換気設定変更/気管カニューレの交換を学ぶ。</p>					
第9回	後期履修期間 未定	○	<p>【クリティカルケア・プライマリアケア演習】  シミュレーション教育センターにて、胃瘻・胃瘻ボタン・腸瘻・膀胱瘻・腎瘻を学ぶ。</p>					
第10回	後期履修期間 未定	○	<p>【クリティカルケア・プライマリアケア演習】  シミュレーション教育センターにて、褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去/壊死組織の除去に伴う出血の止血方法/局所陰圧閉鎖法を学ぶ。</p>					
第11回	後期履修期間 未定	○	<p>【クリティカルケア・プライマリアケア演習】  シミュレーション教育センターにて、直接動脈穿刺法による採血/橈骨動脈ラインの確保を学ぶ。</p>					
第12回	後期履修期間 未定	○	<p>【クリティカルケア・プライマリアケア演習】 OSCE試験  経口・経鼻挿管チューブ位置調整/侵襲的陽圧換気設定変更/気管カニューレの交換</p>					
第13回	後期履修期間 未定	○	<p>【クリティカルケア・プライマリアケア演習】 OSCE試験  胃瘻・胃瘻ボタン・腸瘻・膀胱瘻・腎瘻</p>					
第14回	後期履修期間 未定	○	<p>【クリティカルケア・プライマリアケア演習】 OSCE試験  褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去/壊死組織の除去に伴う出血の止血方法/局所陰圧閉鎖法</p>					
第15回	後期履修期間 未定	○	<p>【クリティカルケア・プライマリアケア演習】 OSCE試験  直接動脈穿刺法による採血/橈骨動脈ラインの確保</p>					